

題材の設定

家庭科、技術・家庭科の
題材を振り返ってみよう！

(当てはまるものに☑)

- 題材を貫く課題が設定され、題材全体を通して問題解決的な学習を進めることができるように題材が設定されているか。
- 実践的・体験的な活動を通して、生活や技術に関する課題を解決することができる題材になっているか。
- (家庭科や家庭分野の学習では、) 授業内の実践に留まらず、家庭・地域における実践が行われるように題材が設定されているか。

家庭科、技術・家庭科における **題材** の設定

生活や社会の中から問題を見だし、題材を通して解決したい**課題を設定**する。

題材の課題

課題解決に必要な知識及び技能を習得する。

- ・生活や技術の課題を解決するために必要な基礎的な知識及び技能の習得を図る。

課題解決に向けた実践活動を行う。

- ・「実習（製作）」を目的とするのではなく、「実習（製作）」を通して課題の解決を行う。

実践活動の評価・改善を行い、**課題を解決**する。

★家庭科、技術・家庭科（家庭分野）

家庭・地域で実践を行う。

- ・家庭・地域における実践を計画・実施し、振り返りを行う。

授業の展開

家庭科、技術・家庭科の
授業を振り返ってみよう！

(当てはまるものに☑)

- はじめに到達目標を明確にしているか。
- 前時までの学習を活用し、明確な視点をもって活動ができるようにしているか。また、実践的・体験的な活動を通して学び合えるようにしているか。
- 活動の結果を基に具体的な評価を行い、定着状況を自覚できるようにしているか。
- 目標に到達していない児童生徒をそのままにせず、分かるまで、できるまで指導を行っているか。

家庭科、技術・家庭科における **授業** の展開

課題設定

シンプルでインパクトのある提示

資料（実物）

示範（実演）

- ・資料提示や示範をしながら、到達目標を明確に示す。

本時の課題

課題追究

視点を基にした追究活動の充実

実践的・体験的な活動を通して・・・

(製作、制作、育成、実習、観察・実験、見学、調査、研究)

- ・教えるべきことは教える。(考える根拠がない中で「どうすればよいか?」というような曖昧な発問はしない。)
- ・視点を明確にして、早く活動に入る。(活動に入るまでに時間をかけず、活動時間を十分に確保する。)
- ・活動する中で気付いたことや思考したことを学び合えるように指導し、さらに追究を深められるようにする。

課題解決

客観的で正確な評価と改善の指導

確かめ

改善

- ・技能習得であれば、道具等を用いた正確な点検や検査を位置付け、「できていない」ときは、再度指導する。